

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

平成 29 年度 事業報告書

社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会

# 平成 29 年度 社会福祉法人大槌町社会福祉協議会事業報告

## 概 要

平成 29 年度大槌町社会福祉協議会事業活動は、大槌町地域福祉推進計画の基本理念である「支え、支えられ、安心と生きがいを育む 地域福祉」を達成するため、5つの基本目標のもと各種事業に取り組みました。

被災者支援活動については、生活再建が進んでいますが、未だ仮設住宅等での生活が続き、長期化する被災生活により不安な状況の中、これまで同様に生活支援相談員、仮設支援員、サポートセンター職員が見守り訪問活動や仮設住宅集会所等でのサロン活動を実施し、町民に寄り添いながら生活の安定に努めました。また、災害公営住宅では、仮設住宅等からの入居が進む中、関係機関と連携し、新しいコミュニティの構築や自治会支援等に取り組みました。

生活困窮者自立支援事業（くらし・しごと相談所）は、積極的なアウトリーチや関係機関との情報共有を図り、潜在するニーズの掘り起こしを行いました。また、相談者ひとり一人の悩みに応じた解決策を共に考え生活の立て直しにつながるような支援に取り組みました。

介護サービス事業では、それぞれの事業所で新規利用者の受け入れや事業の見直しを図り、利用者へ寄り添ったサービス提供に努めましたが、利用者の入院や入所、冬期間の受け入れ低迷などにより利用実績は伸び悩みました。

障がい福祉サービス事業では、就労継続支援等の必要な訓練を実施することにより利用者サービスの充実に努めました。また、部品組み立て作業、ワカメ剣山作業、缶詰作業、リサイクル作業等の受託作業といった生産活動の提供に努め利用者数・利用回数ともに増加しました。

## 重点事項（大槌町社会福祉協議会地域福祉活動計画 基本目標）

### 基本目標 1 一番身近で、頼りになるコミュニティづくり

#### ◇地域コミュニティの再生（自治会・町内会の立ち上げ）

##### ① 地域交流用具等の貸出し

	件数	主な貸出物品
自治会	20 件	長机、パイプ椅子、テント、草刈り機
NPO・ボランティア団体	42 件	キャンプ机・イス、テント、かき氷機
その他	69 件	キャンプ机・イス、テント、バーベキューコンロ
計	131 件	

#### ◇住民支え合い体制の構築

##### ② 地域介護予防活動支援事業（お茶っこの会）\*町の補助事業

地域の高齢者が、生きがいと元気に暮らすきっかけを見つけ、互いに交流することで地域への関心を深め、近隣での助け合いを育む地域づくりを目指して、お茶っこの会を支援しました。

年度	開催箇所数	開催回数	参加人数
H27	19 地区	136 回	3,490 人

H28	19 地区	144 回	3,468 人
H29	19 地区	147 回	3,339 人

③ 地域介護予防活動支援事業(ふれあい昼食会) \*町の委託事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、高齢者の食生活改善や地域の人々とのふれあいを広げ、在宅福祉の増進を図ることを目的に町内のお茶っこの会とあわせて開催しました。

年度	開催箇所数	開催回数	参加人数
H27	7 地区	9 回	329 人
H28	7 地区	10 回	337 人
H29	5 地区	8 回	278 人

④ 地域交流サロン

生活支援相談員によるサロン、住民交流活動実績

項目	サロン活動①		地域支援活動 (サロン以外) ②		① ②のうち災害公営住宅 と地域の交流事業	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
H29. 4	8	60	6	157	2	15
H29. 5	7	55	6	141	2	31
H29. 6	7	68	8	144	3	41
H29. 7	7	54	4	84	3	37
H29. 8	7	53	3	163	5	44
H29. 9	8	68	11	218	3	32
H29.10	8	53	2	20	5	44
H29.11	8	60	3	44	5	43
H29.12	9	67	2	27	2	19
H30. 1	8	58	2	20	5	51
H30. 2	10	47	4	45	3	20
H30. 3	7	51	2	20	3	27
計	94	694	53	1,083	41	404
月平均	8	58	4	90	3	34

①サロン活動…生活支援相談員が開催する「ひだまりサロン」の回数と参加人数。

〈仮設住宅：5か所 公営住宅：4か所 白澤・寺野集会所〉計10か所で開催

②地域支援活動…民生委員が主催する各地区の「お茶っこの会」に生活支援相談員が参加。

①②のうち災害公営住宅と地域の交流事業…災害公営住宅で開催した「ひだまりサロン」に近隣住民が参加した回数と人数。

⑤ 住民支え合いマップづくり

「地域のつながり、支え合いについて話し合う場」としてマップづくりを行いました。今年度は末広町町営住宅で開催し、民生委員児童委員・住民が中心となりマップ作成に取り組みました。

開催日	場 所	内 容	参加者
H29. 9. 6	末広町営住宅	支え合いマップ作成会	14人参加
H29. 11. 13	末広町営住宅	支え合いマップ課題報告会	11人参加

基本目標 2 地域福祉の担い手づくり

◇福祉教育の推進・地域福祉のスキルアップ

① 社会福祉大会

日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場所：大槌町中央公民館 大会議室

後援：大槌町、大槌町教育委員会、岩手県沿岸広域振興局

表彰者：20 人（社会福祉事業功労者 5 人、ボランティア活動功労者・団体 3 団体、永年勤続功労者 11 人、褒賞 1 人）

記念講演：演題『私にもできる！お互いさまの地域づくり』

事例発表者 「向定内にこにこクラブ」「平田はまなす」の皆さん

コーディネーター 釜石市社会福祉協議会 菊池 亮 氏

② 福祉協力校事業

大槌町内の小・中・高等学校を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会の啓発を図ることを目的として社会福祉協力校事業を推進しました。町内 5 校（大槌学園前期課程・大槌学園後期課程・吉里吉里学園小学部・吉里吉里学園中学部・大槌高等学校）を指定し、各校に活動費として 5 万円を助成しました。

区分	学校名	主な活動内容
講演会等の開催	吉里吉里学園小学部	家庭教育学級講演会 淑徳大学教授 小川 恵 氏
	大槌高等学校	認知症サポーター養成講座
社会福祉施設見学	吉里吉里学園小学部	三陸園訪問 1 回 16 人
	吉里吉里学園中学部	三陸園訪問 1 回 全校生徒（合唱披露）
地域交流活動	大槌学園前期課程	復興住宅への訪問（歌とダンスの披露）1 回 60 人
	大槌学園後期課程	地域の店舗へ訪問（クリスマスコンサート）
	吉里吉里学園小学部	仮設住宅への訪問（歌とダンスの披露）2 回 44 人
	吉里吉里学園中学部	PTA わかめ芯裂き作業体験（漁協女性部・長寿クラブ）

	大槌高等学校	キッズステーションボランティア活動 4回 80人 (学童クラブ・大ケロ保育園・夢ハウス・放課後教室)
調査研究活動	大槌学園後期課程	ハザードマップ調査 (7年: 自然環境・防災教育)
募金活動	大槌学園前期課程 大槌学園後期課程 吉里吉里学園小学部	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動
	吉里吉里学園中学部	秋田県大仙市平和中学校への募金活動
国際理解・協力活動	大槌高等学校	フォートブラック市との交流活動
キャップハンディ 体験学習等	大槌学園前期課程	キャップハンディ体験 (4年生)
その他	大槌学園前期課程	地域のお年寄りとの交流、復興工事に係る仕事の学習
	大槌学園後期課程	ベルマーク回収、職場体験活動 (9年生)
	吉里吉里学園小学部	心のサポート事業、障がい者ボランティア体験
	吉里吉里学園中学部	学校支援ボランティア「部活動見守り隊」による見守り
	大槌高等学校	大阪府豊中市社会福祉協議会 被災地訪問交流事業

### ③ キャップハンディ体験教室

- ・日時: 平成29年11月29日(火) 午前10時～12時30分
- ・場所: 大槌学園
- ・対象: 大槌学園4年生 71人
- ・内容: 【講話】「視覚障がいについて」 講師: 藤原正氏  
【体験】ガイドヘルプ体験、車いす体験

### ④ 出前講座

お茶っこの会に出向き認知症サポーター養成講座や健康体操やレクリエーションを行いました。

月	会場	内容	対応職員
5月	吉里吉里4お茶っこの会	輪投げ	生活支援相談員
5月	沢山地区お茶っこの会	伝言ゲーム	生活支援相談員
9月	花輪田地区お茶っこの会	認知症サポーター養成講座	生活支援相談員
11月	エコハウス友の会(小槌4)	健康体操	生活支援相談員
3月	花輪田地区お茶っこの会	ふまネット	生活支援相談員

### ◇ボランティアの活動支援と育成

#### ⑤ 町民ボランティアの育成

ボランティア登録者数 引越しボランティア: 6人 雪かきボランティア: 30人

⑥ ボランティアの活動支援

平成 29 年度ボランティア受入数 140 団体 598 人

お茶っこサロン：100 人 イベント：388 人 草刈り：93 人 その他：17 人

⑦ ボランティア保険加入促進

保険種類	平成 29 年度	平成 28 年度
ボランティア活動保険	A プラン 18 件 223 人	A プラン 27 件 223 人
	天災 A プラン 3 件 3 人	天災 A プラン 3 件 96 人
	天災 B プラン 1 件 1 人	天災 B プラン 6 件 12 人
ボランティア行事保険	47 件 3,061 人	37 件 3,129 人
福祉サービス総合補償	2 件 94 人	1 件 87 人
送迎サービス補償	1 件 8 人	1 件 8 人

◇ボランティア団体の連絡協議会の運営支援

⑧ 大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営

- ・参加団体数：15 団体
- ・総 会：1 回開催
- ・会 議：5 回 (3.11 実行委員会)
- ・研 修 会：1 回 ボランティアセンター事業「憩いの場づくり」と合同で開催した。
- ・イベント：
  - ・メッセージ作成会 平成 30 年 1 月 28 日 (日) 開催
  - ・「3.11 集い～灯火～」 平成 30 年 3 月 11 日 (日) 開催
- ・その他：
  - ・手作りろうそく作成会 平成 29 年 12 月 16 日 (土) 実施
  - ・ペットボトル灯ろう・ろうそくづくり 平成 30 年 2 月 21 日 (水) 実施

◇福祉・介護の担い手の育成と確保

⑨ ボランティア研修会の開催

開催日	研修会名	対象者	場所	参加人数
H29.6.3	ボランティア倶楽部① ・講座「ボランティア」とは ・体力チェック ・理学療法士による軽運動 【講師】 ・地域包括支援センター職員・医療法人あかね会理学療法士	中学生以上	中央公民館 大会議室	17 人 内訳： 老人クラブ 5 人 ボラ連 2 人 民生委員 1 人 団体職員 2 人 一般町民 4 人 社協 3 人
H29.7.15	ボランティア倶楽部② 「憩いの場づくり」 ・城山公園内の草刈り作業	中学生以上	・城山公園 (社協裏)	20 人 内訳： ボラ連 11 人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内のテーブル・ベンチ補修</li> <li>・ペンキ塗り作業</li> <li>・つつじの剪定</li> </ul> <b>【昼食交流会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理者： 大槌町赤十字奉仕団（3人） 釜石地区更生保護女性の会 大槌地区（2人）</li> </ul>			老人クラブ1人 役場1人 一般町民2人 大槌高校生2人 社協3人
H29. 8. 19	ボランティア倶楽部③ 「昔あそび体験」 <b>【協力団体】</b> 老人クラブ連合会（3人） 大槌陣屋（6人） ボラ連2人（更女、ケヤキ）	町内小学生	シーサイドタウンマスト1階	85人 内訳： 子ども、保護者合わせ
H29. 11. 18	ボランティア倶楽部④ 「防災ボランティア研修会」 （講話）誰でもできる地域防災 （体力作り）脳トレ体操 （避難準備） <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風被害の様子を映像で視聴</li> <li>・安全な移動方法について（体験）非常用持ち出し品の紹介</li> </ul> （座談会）災害時の非常食の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し袋を使ったご飯の食べ方の指導</li> <li>・アルファ米の試食</li> </ul> <b>【講師】</b> 大槌町総務部危機管理室 <b>【協力】</b> 大槌町赤十字奉仕団 大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会	白沢・寺野地区住民	白澤・寺野ふれあい集会所	35人 内訳： 一般町民27人、民生委員1人、大槌町赤十字奉仕団3人 大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会4人
H30. 2.	ボランティア倶楽部⑤ 「防災ボランティア研修会」 （講話）誰でもできる地域防災	沢山地区住民	沢山地区集会所	※荒天のため中止

	(避難準備) 安全な移動方法 について (体験) 非常用持ち出し品の 紹介 ・非常食の紹介 【講師】 大槌町総務部危機管理室 【協力】 大槌町赤十字奉仕団 大槌町食生活改善推進員団体 連絡協議会			
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

### 基本目標 3 地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり

#### ◇情報保持・共有体制の確立

##### ① 広報等による情報発信

町民へ社協の事業や様々な福祉情報を知っていただくため広報を発行しました。

##### 広報の配布実績

配布物	発行回数	発行部数 (1回)	配布先
社協会報	3回 (7月.11月.3月)	5,000部	全戸
社協だより	6回 (5.8.9.10.12.2月)	5,000部	全戸
おれんじ通信	12回 (毎月25日)	1,700部	仮設住宅・公営住宅
おひさま便り	3回 (4月.8月.12月)	200部	利用者・関係者
ワークフォローおおつ ちだより	1回 (3月)	25部	利用者
和野っこハウスだより	12回 (毎月20日)	100部	掲示板・仮設住宅

#### ホームページ・ブログ・FB (フェイスブック) 作成事業

社協の広報啓発活動の一環として、インターネット上でホームページを公開しました。

また、地域の情報をいち早く、町内外の方に発信するためブログ等の公開をしました。

#### ◇保健・医療・福祉など関連団体との連携体制の構築

##### ② 生活支援相談員による定期訪問活動

項目	訪問頻度区分 (対象者数)					訪問状況 (訪問回数)		
	重点 見守り	通常 見守り	見守り 不要	不明・ その他	計	訪問 回数	全戸 訪問	配布
29.4	39	1,476	911	13	2,439	581	80	655
29.5	36	1,465	911	11	2,423	545	167	2,917



29.6	37	1,435	931	10	2,413	505	234	1,661
29.7	39	1,409	968	7	2,423	550	857	2,035
29.8	38	1,352	977	6	2,373	613	912	1,845
29.9	37	1,312	989	17	2,355	564	329	367
29.10	35	1,305	1,070	24	2,434	550	676	3,019
29.11	35	1,294	1,073	15	2,417	622	234	1,730
29.12	31	1,284	1,087	15	2,417	596	469	1,647
30.1	39	1,254	1,092	29	2,414	511	495	1,628
30.2	39	1,257	1,101	46	2,443	495	41	1,299
30.3	39	1,203	1,155	35	2,432	486	555	1,605
計						6,618	5,049	20,409
月平均						552	421	1,703

\*数値、区分は岩手県社会福祉協議会「生活支援相談員活動実績報告書」による。

『重点見守り』

○生活支援相談員の観察と他機関のサービス利用・連携により、多機関、多職種で関与する必要がある。

『通常見守り』

○生活支援相談員が定期的に関与し、変化があるかどうか気に掛ける必要がある。  
○生活支援相談員が定期的に関与し、他の支援機関と情報共有を行う必要がある。

『見守り不要』

○健康、生計、家族関係などが安定していて、近隣、親族関係が良好な世帯。  
○関係機関と協議したうえで訪問不要と思われる世帯。

『不明・その他』

○仮設住宅からの転居先が未確認な世帯。  
○未面談世帯。

『配布』

○おれんじ通信、サロン開催チラシの配布。

③ 仮設支援員による定期訪問活動

月	大槌東	大槌西	小槌東	小槌西	安渡・赤浜	吉里吉里・浪板	合計	稼働日数	平均訪問件数	イベント件数
29.4	774	895	1,560	1,312	675	782	5,998	19	316	145
29.5	909	645	1,618	1,285	679	700	5,836	20	292	126
29.6	959	643	1,721	1,378	635	729	6,065	22	276	201

29.7	839	552	1,496	1,208	685	576	5,356	20	268	173
29.8	803	530	1,452	1,218	600	445	5,048	20	252	157
29.9	742	518	1,401	1,115	591	452	4,819	20	241	169
29.10	740	510	1,356	1,069	598	425	4,698	21	224	170
29.11	708	494	1,320	1,068	573	400	4,563	20	228	167
29.12	662	476	1,302	1,046	563	377	4,426	20	221	157
30.1	492	436	1,053	943	421	307	3,652	19	192	139
30.2	412	421	1,039	872	397	315	3,456	19	182	134
30.3	373	439	1,067	960	440	323	3,602	21	172	129
	8,413	6,559	16,385	13,474	6,857	5,831	57,519	241	239	1,867

#### ④ コミュニティソーシャルワーカーの配置

岩手県社会福祉協議会主催の「コミュニティソーシャルワーカー養成研修会」に職員2名が参加し、平成29年度末での研修修了者は10人となりました。10人は所属部署・業務もさまざまですが、研修で得たものを業務に活かしています。

### 基本目標4 多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり

#### ◇福祉サービスの利用促進（情報提供・相談窓口の強化等）

##### ① 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でないために、適切なサービスの提供を受けられない方に対して、自立した地域生活が送れるよう、釜石市社会福祉協議会と連携しながら福祉サービスの利用援助や金銭管理を支援しました。

利用者 9人（知的障がい者3人 精神障がい者2人 認知症高齢者4人）

##### ② 高齢者等共同仮設住宅の管理運営 \*町の委託事業（あじさい館）

加齢による体力の低下や認知症の症状が進んでいる方もおられましたが、ぴんころ体操や和野っこハウスのサロンへの参加等で体力の維持に努めました。また、家族と協力しながら、見守り・声

掛け等で毎日の生活の支援を行いました。

仮設住宅団地集約計画などによりあじさい館の供与期間も平成29年度までとなり、平成30年3月31日をもって1号棟の運営を終了しました。

### ③ 高齢者サポート拠点の管理運営 \*町の委託事業 (和野っこハウス)

仮設住宅での生活が長期化する住民に対して、いろいろな行事やイベントを行い、きめ細やかな支援と居場所づくりに努めました。地域包括支援センターからの依頼や問い合わせが増え、情報共有や施設利用、送迎等の連携を行っています。また、仮設支援員とともに仮設住宅入居者の見守りを兼ねた訪問を重点的に行っています。

内容	福祉事業デイ	地域交流事業	総合相談	会議室	入浴	訪問
H27	2,636人	5,585人	114件	110人	197回	107回
H28	2,138人	4,781人	53件	186人	162回	82回
H29	1,731人	2,731人	102件	72人	142回	5,134回

### ◇多様で適切な福祉サービスの確保・充実

#### ④ 移送サービスの実施 (一般乗用旅客自動車運送事業、福祉有償運送事業)

運行実績		地域別		場所別	
登録人数	運行回数	町内	釜石	通院等	施設
18人	71回	31人	6人	37人	0人

#### ⑤ 買物・見守り支援 (まごころ宅急便) の実施

一人暮らし高齢者世帯や身体障がい者世帯等の買い物困難世帯を対象に、ヤマト運輸、ジョイス、薬王堂、社協が連携し、買い物代行サービスを実施しました。

登録者 14人、実利用者数 5人、年間注文件数 68件

#### ⑥ 配食サービスの実施 \*町の委託事業

65歳以上の単身世帯等、調理が困難な方に対して、配食サービスを提供することにより、心身の健康の保持及び介護予防並びに居宅生活の自立支援を図ることを目的に実施しました。

実施日数 49日 (毎週木曜日の昼食) 食数 937個 登録者 25人

#### ⑦ 居宅介護支援事業

平成29年度は、昨年に引き続き3人体制で行ってきました。介護支援専門員実務実習生を1人受け入れ、各職員も資格更新に伴う研修に参加しました。

昨年に比べ新規の実利用者数は増えましたが、死亡・入院・入所による契約終了者数も増え、実績件数は伸びませんでした。医療等の他機関と連携を図り在宅介護へのサポートに努めました。

居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
作成件数	99	100	101	101	100	99	95	95	92	86	85	85	1,138	95

介護予防支援事業（受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
作成件数	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49	4

⑧訪問入浴介護事業

平成29年度は前年度より利用者数、利用回数、介護収入、下回りました。新規利用者は前年度より2人増えてましたが、入院、入所、死亡より減少しました。

訪問入浴介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	16	17	14	14	14	15	15	16	16	10	9	11	167	14
利用回数	59	68	63	54	57	51	62	67	57	38	29	46	651	54

⑨訪問介護事業

平成29年度は、実利用者数は増加、利用回数は減少傾向となりましたが身体介護での利用者は増加しています。利用者に共通して見える傾向としては、入院から退院後の在宅復帰が厳しくなり、ショートステイ（短期入所）を利用しながら入所待ちをしている状況に変わりはありません。また4月から町の新しい事業として予防介護から日常生活総合事業訪問型サービスへの切り替わりが始まりました。支援内容としては予防介護としてサービス提供していたものが、更に利用者個人のニーズに合わせて柔軟な対応をしていくこととなります。

訪問介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	39	35	38	37	42	44	41	40	37	34	36	37	460	38
利用回数	625	458	501	575	585	615	593	566	571	514	418	623	6,644	554

介護予防訪問事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	16	16	16	11	8	6	5	3	3	3	3	0	90	8
利用回数	66	70	78	49	43	31	28	20	21	17	15	0	438	37

総合事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	3	4	4	9	12	16	17	19	21	19	20	20	164	14
利用回数	13	20	17	38	59	77	88	102	117	109	114	121	875	72

障害福祉サービス実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	22	2
利用回数	12	15	12	11	13	9	13	11	3	0	11	11	121	10

⑩ 通所介護事業

平成 29 年度は、前年度に比べて新規利用者数が少なかったものの、登録者の延べ回数増と平均介護度が上がったことにより、前年度より稼働率・介護報酬は増加しましたが、人件費等のコストも増加しました。

利用者の加齢と身体状態のレベル低下に伴い、在宅介護者の心身負担も増えており、相談業務に費やす時間が増えました。また、介護度 3 から 5 の利用者が増加傾向にあるため、急な体調変化が著しく、自宅療養や短期入所、入退院の出入りが激しく、サービス利用の調整が多くなりました。

通所介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	42	45	44	42	42	42	42	41	42	40	43	42	507	42
利用回数	246	296	298	283	257	241	262	276	264	233	248	271	3,175	265

介護予防通所介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	7	5	3	3	2	2	2	2	1	1	1	0	29	2
利用回数	39	21	9	12	7	7	10	8	4	4	4	0	125	10

日常生活総合支援事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	0	2	3	3	2	3	4	6	6	5	5	6	45	4
利用回数	0	9	18	15	12	17	21	26	28	25	24	22	217	18

主な行事

月	行事名	月	行事名
4月	各種レク活動・おやつ作り	11月	各種レク活動・さんさ踊り見学会
5月	各種レク活動・避難訓練	12月	クリスマスケーキ作り・各種レク活動
6月	運動会・買い物ドライブ	1月	各種レク活動・みずき団子作り
7月	納涼祭・各種レク活動	2月	各種レク活動
8月	避難訓練・うちわ作り・おやつ作り	毎月及び随時 ボランティア による活動	誕生日会・ひまわり会による大正琴演奏・嵐 2000
9月	敬老会 (町内幼稚園・ボランティア来所)		の会による読み聞かせ・認知症予防 (数独)
10月	創作活動・大運動会		傾聴ボランティアひまわり交流会

運営推進会議

開催日	内容
H29. 10. 18	・活動状況報告
H30. 3. 2	・活動状況報告・利用者アンケートの結果報告・事業所内自己評価の報告

⑪ 小規模多機能型居宅介護事業

平成 29 年度は、前年度と比較すると利用回数が増加しました。登録定員 29 名に対する登録率も 100%になる月もありましたが、1年の間には入院や他施設への入所による契約終了等があり定員の変動も多い年でした。

小規模多機能型居宅介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	24	23	22	23	24	25	26	25	26	26	26	26	296	24
利用回数	596	591	648	636	580	637	700	642	654	603	626	652	7565	630

介護予防小規模多機能型居宅介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
利用回数	15	25	27	23	17	22	27	30	28	23	30	31	298	25

主な行事

月	行事名	月	行事名
4月	花見ドライブ	10月	文化祭作品作り、芋掘り
5月	畑作り、種植え	11月	町民文化祭出展・紅葉ドライブ・避難訓練
6月	工作	12月	クリスマス会
7月	七夕会、山田道の駅買物ドライブ	1月	みずき団子づくり、元朝参り、正月遊び
8月	避難訓練(土砂災害)	2月	節分
9月	収穫祭・敬老会	3月	ひな祭り、避難訓練

運営推進会議

開催日	内容
H29. 5. 30	利用状況について
H29. 7. 26	利用状況について
H29. 9. 12	ほっと おおつち収穫祭
H29. 11. 24	外部評価について・利用状況について
H30. 1. 29	外部評価・利用状況について
H30. 3. 27	外部評価(総括表の説明)、利用状況について

⑫ 障がい者就労継続支援事業 (B型非雇用型)

部品組立、ワカメ作業、缶詰作業の受託作業は順調に進んでおります。以前より受託作業をベースとしているため、昨今の経済情勢に影響を受けますが、利用者の増などもあり平成28年度の作業収入と比較すると増収となっています。

就労継続支援事業 (B型 非雇用型) 実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	19	21	21	22	21	23	22	22	22	18	19	19	249	20
利用回数	305	331	362	343	306	335	351	321	322	267	284	327	3,854	321

作業名	作業内容
部品組立作業	ネジ穴にマスクという部品を埋め込む
ワカメ作業	剣山を使用して茎を細く裂く
缶詰作業	缶詰を3缶重ね、フィルムを被せシュリンクする

	缶詰にラベルを貼る 缶詰にシールを貼る スリーブに缶詰を入れる
EM ボカシ製造・販売作業	EM 菌を使い、もみ殻とぬかを調合してボカシ（肥料）を製造する
カップリングシール作成 作業、看板作成作業	橋野鉄鉱山シール、釜石ラグビーシールを釜石仙人峠道の駅と橋野どんぐり広場産直にて平成 28 年 5 月より販売開始
リサイクル作業	平成 28 年 8 月より「みちのくコカ・コーラ釜石営業所」より空缶を回収し、アルミ缶とスチール缶に分別して、㈲釜石資源商事へ運搬する
その他	新巻鮭用飾りヒモ作成

### 主な行事

月	行事名	月	行事名
5 月	お花見会	12 月	合同クリスマス会
8 月	バーベキュー昼食会	1 月	新成人を祝う会
11 月	昼食いも煮会		

### ◇自立を支える生活支援サービスの質の向上

#### ⑬ 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、平成 28 年度に岩手県（沿岸広域振興局）から釜石市社会福祉協議会が委託を受けて、大槌町分を本会の「くらし・しごと相談所」が実施している事業です。

相談者の悩みや心配事を一緒に整理し、課題を解決するためのプランをつくり、生活の安定・自立を目指してサポートしています。

※相談者の傾向として、全国同様に 40～50 代の男性からのお金や仕事に関する相談が多いです。

年度	相談件数 (総数)	来所回数 (総数)	訪問 (同行含む)	プラン作成 件数	就労者数	食料支援 世帯数
H28	501 件	88 件	53 件	10 件	4 件	11 件
H29	1,315 件	190 件	194 件	26 件	8 件	15 件

#### ⑭ 新しい総合事業

現行の介護予防訪問介護事業と介護予防通所介護事業は、平成 30 年 3 月 31 日までに総合事業にすべて移行されました。移行により、町が主体となって実施する地域支援事業のひとつとして位置付けられ、住民ボランティアなど多様な主体との連携を通じ、地域に根ざした支援体制を目指します。対象者へは今までどおり柔軟な対応ができるよう支援します。

#### ⑮ たすけあい金庫貸付事業

生活費や医療費等に困窮している世帯に対し、生活の安定を図ることを目的に 5 万円を上限に貸付けを行いました。

年度	貸付件数	貸付金額	償還金額	貸付残額	償還完了件数
H24	8 件	330,000 円	65,000 円	265,000 円	0 件
H25	13 件	570,000 円	515,000 円	55,000 円	11 件

H26	8件	345,000円	458,000円	△113,000円	11件
H27	8件	290,000円	168,000円	122,000円	6件
H28	4件	180,000円	190,000円	△10,000円	4件
H29	10件	390,000円	180,000円	210,000円	3件
合計	51件	2,105,000円	1,576,000円	529,000円	35件

⑩ 生活福祉資金貸付事業 \* 県社協の委託事業

資金種別	貸付件数	貸付金額	備考
総合支援資金	0件	0円	
福祉資金	2件	570,000円	@500,000円 @70,000円
教育支援資金	2件	1,080,000円	@320,000円 @760,000円
緊急小口資金	0件	0円	
生活復興支援資金	0件	0円	
計	4件	1,650,000円	

基本目標5 地域福祉を推進するための基盤づくり

① 事務局組織体制の連携強化

② 財政基盤の充実

寄附金・義援金

町民をはじめ、全国の団体・企業から、寄附金等が寄せられました。

区分	寄附金		寄附物品
	件数	金額	件数
個人	1件	20,000円	3件
団体・企業	23件	1,030,909円	8件
計	24件	1,050,909円	11件

③ 基金運用の効率化

まごころ福祉基金

福祉活動事業の財源確保と本会事業の財政安定を図るため、まごころ福祉基金を設置しております。(H30.3.31現在)

目標額	今年度積立額	保有額
40,000,000円	0円	33,122,727円



④ 理事会・評議員会の運営

理事会

開催日	報告及び審議事項	出席者	欠席者
H29. 6. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度事業報告について</li> <li>・平成 28 年度収支決算について</li> <li>・役員等の報酬及び旅費規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・育児休業・介護休業法の改正に関連する規程の一部改正について</li> <li>・介護サービス職員の給与規定の一部改正について</li> <li>・理事及び監事候補者の推薦について</li> <li>・評議員会の招集について</li> </ul>	11 名	0 名 (欠員 1)
H29. 6. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長及び副会長の選任について</li> </ul>	11 名	1 名
H30. 3. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員並びに臨時的任用職員等の取り扱いに関する規則の一部改正について</li> <li>・大槌町で「サービスセンターはまぎく」運営規程の一部改正について</li> <li>・平成 29 年度資金収支補正予算について</li> <li>・平成 30 年度事業計画について</li> <li>・平成 30 年度資金収支予算について</li> <li>・評議員会の招集について</li> </ul>	9 名	2 名 (欠員 1)

評議員会

開催日	報告及び審議事項	出席者	欠席者
H29. 6. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度事業報告について</li> <li>・平成 28 年度収支決算について</li> <li>・役員等の報酬及び旅費規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・育児休業・介護休業法の改正に関連する規程の一部改正について</li> <li>・理事及び監事の選任について</li> </ul>	11 名	7 名
H30. 3. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度資金収支補正予算について</li> <li>・平成 30 年度事業計画について</li> <li>・平成 30 年度資金収支予算について</li> </ul>	12 名	6 名

⑤ 監査の定期的実施

開催日	内容
H29. 5. 25	平成 28 年度第 4 四半期出納調査及び平成 28 年度決算監査

H29. 8. 2	平成 29 年度第 1 四半期出納調査
H29. 11. 16	平成 29 年度第 2 四半期出納調査
H29. 2. 15	平成 29 年度第 3 四半期出納調査

⑥ 社協会員加入運動の推進

全戸加入運動（社協会費）

年度	既存世帯数	受領世帯数	受領金額	達成率
H26 年度	4, 8 7 3 世帯	3, 5 7 7 世帯	1, 7 8 9, 4 0 0 円	7 3 %
H27 年度	4, 9 2 6 世帯	3, 7 0 5 世帯	1, 8 6 3, 3 5 0 円	7 5 %
H28 年度	4, 8 0 8 世帯	3, 6 5 2 世帯	1, 8 2 9, 5 0 0 円	7 6 %
H29 年度	4, 8 5 8 世帯	3, 6 8 9 世帯	1, 8 4 5, 8 0 0 円	7 6 %

⑦ 共同募金委員会の運営

⑧ 民生委員児童委員協議会の運営

⑨ 関係機関及び団体との連携強化

老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会、身体障害者福祉協議会、遺族会、言葉を育む親の会、手をつなぐ親の会



